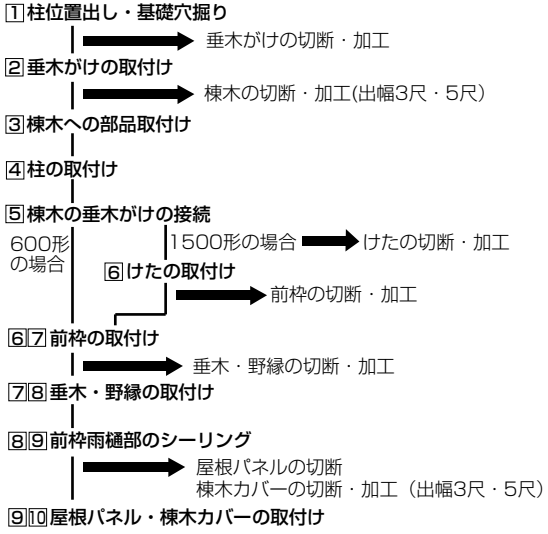


●お願い…入隅以外の組立て・取付け及び施工上のご注意・製品の取扱いについては、サマンテラス本体に同梱してある取付け説明書をご覧ください。

■作業手順



■部材の加工寸法

●専用部材寸法

出幅	名称	入隅棟木A	入隅棟木カバー	棟木Aスリーブ
3尺		1199.5	1267.5	—
4尺		1626	1694	—
5尺		2054	2122	—
6尺		2481.5	2549.5	2477

注) 入隅棟木Aと入隅棟木カバーは、4尺・6尺用が規格サイズです。
3尺・5尺用の場合は、切り詰めてください。
棟木Aスリーブは規格サイズを切り詰めてください。

●各部材寸法算出公式・寸法表

●前枠=(P×S)+20

●けた=P×S

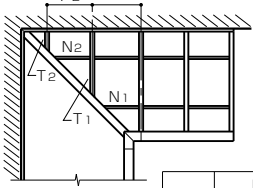
●垂木掛け=(P×S)+D+205.79

出幅	D	S			
		1間	1.5間	2間	2.5間
3尺	885	1	2	3	5
4尺	1185	1	2	3	5
5尺	1485	—	1	2	4
6尺	1785	—	1	2	4

●入隅部垂木・野縁寸法表

出幅	垂木		野縁	
	T ₁	T ₂	N ₁	N ₂
3尺	221.5	180.5	—	—
4尺	485.5	485.5	758	758
5尺	831	770	147.5	—
6尺	1074.5	303	752.5	603

注) 上段：関東間 下段：関西間・九州四国間



タイプ	P
関東間	760
関西間 九州四国間	820

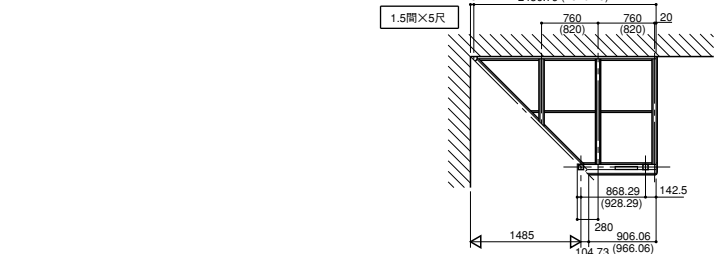
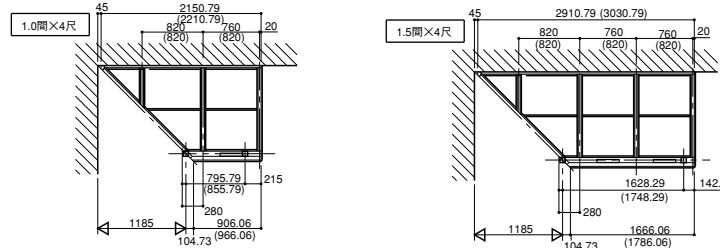
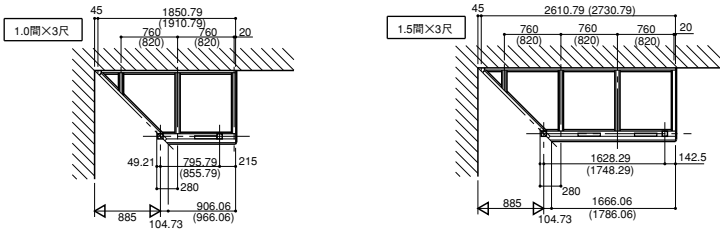
注) 関東間4尺・6尺の場合はP₁=820となります。

出幅	関東間		関西間・九州四国間	
	P ₂	P ₁	P ₂	P ₁
3尺	—	760	—	820
4尺	—	820	—	820
5尺	—	760	—	820
6尺	760	820	820	820

■部材の加工・取付け上のご願い

- ①右の部材の加工方法は、垂木ピッチ本位で算出するものです。すなわち、垂木ピッチが通常より狭くなる場合はすべて切り詰めます。そのため、タイプによっては切詰め長が長くなる場合もあります。
(入隅部分以外での屋根パネルの切断はありません。)
- ②現場・躯体の状況により、各部材の寸法は異なる場合がありますので、施工の際は調査・検討の上、加工してください。
- ③前枠・垂木がけの垂木取付け穴は下図姿図に従って、右図加工図上の▲印の位置に加工してください。
- ④1500形・6尺の場合は、必ず棟木に棟木Aスリーブを取り付けてください。
- ⑤1間×5尺・1間×6尺は製作不可です。
- ⑥関東間4・6尺の入隅部垂木ピッチP₁は、地方間ピッチ(P=820) にしてください。また、屋根パネルと奥行きセットは地方間用を使用してください。
- ⑦間口2.5間ベースで組み立てる場合、及び1500形の場合は、必ずけた付きにしてください。

■姿図

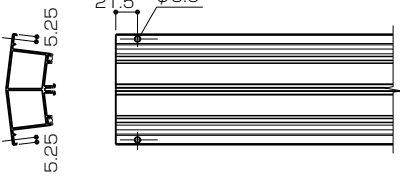


注1) () 内は、関西間・九州四国間をベースに組み立てる場合を示します。
注2) 前枠コーナー継手と前枠の継ぎ目には必ず垂木を取り付けてください。

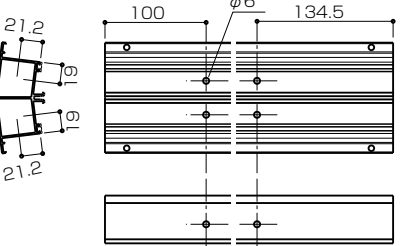
■部材の加工

●入隅棟木A (出幅3尺・5尺の場合)

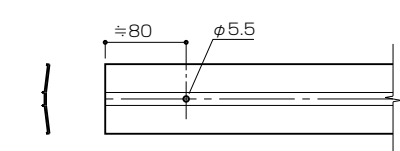
注) 前枠側(端部に長穴のあいていない側)から詰めてください。



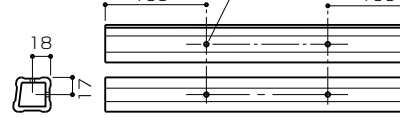
[1500形出幅6尺の場合の追加加工]



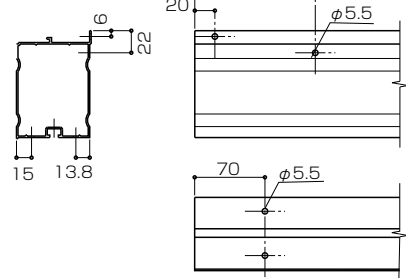
●入隅棟木カバー (出幅3尺・5尺の場合)



●棟木Aスリーブ (1500形出幅6尺の場合)

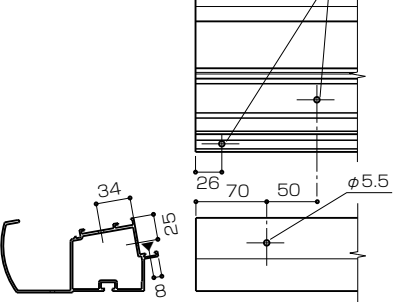


●けた



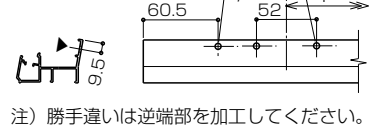
注) 勝手違いは逆端部を加工してください。加工はコーナー継手接続側のみです。

●前枠



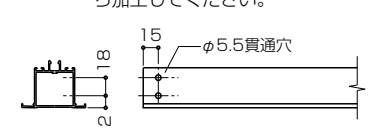
注) 勝手違いは逆端部を加工してください。加工はコーナー継手接続側のみです。

●垂木がけ

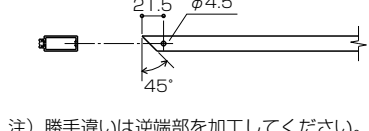


注) 勝手違いは逆端部を加工してください。

●垂木

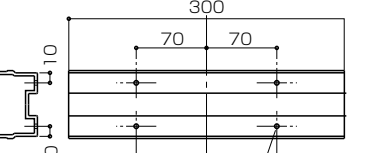


●野縁

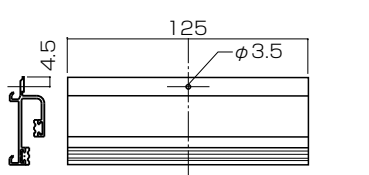


注) 勝手違いは逆端部を加工してください。

●けたスリーブ

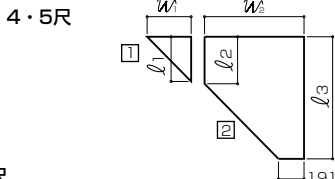


●パネルカバーA (入隅部)



●屋根パネル寸法

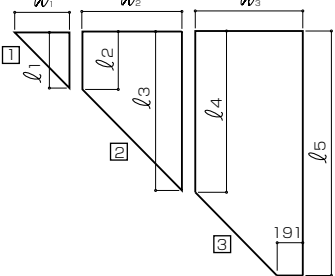
●3・4・5尺



	3尺					4尺					5尺				
	w ₁	l ₁	w ₂	l ₂	l ₃	w ₁	l ₂	w ₂	l ₂	l ₃	w ₁	l ₁	w ₂	l ₂	l ₃
関東間	329	334	743	351	912	568.5	577	803	594.5	1216	928.5	943	743	960	1521
関西間	286	273	803	290.5	912	568.5	577	803	594.5	1216	868.5	882	803	899.5	1521
九州四国間															

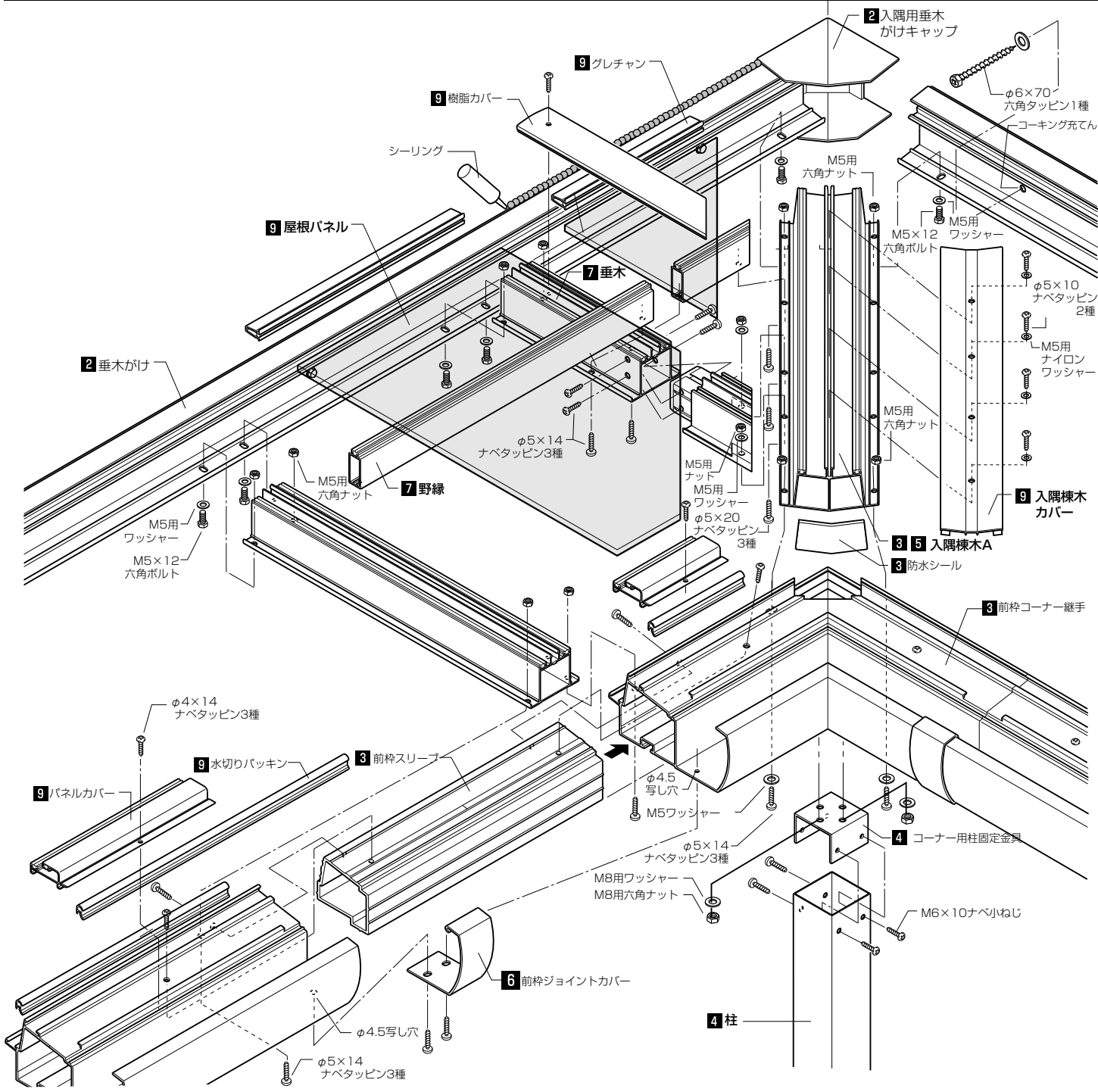
注) 関東間4尺のパネル②は地方間用から切断します。

●6尺



	6尺				
	w ₁	l ₁	w ₂	l ₂	l ₃
関東間	409	415.5	743	432.5	1187
関西間	349	354.5	803	371.5	1187
九州四国間					

注) 関東間6尺のパネル③は地方間用から切断します。



1 柱位置の墨出し・基礎穴掘り

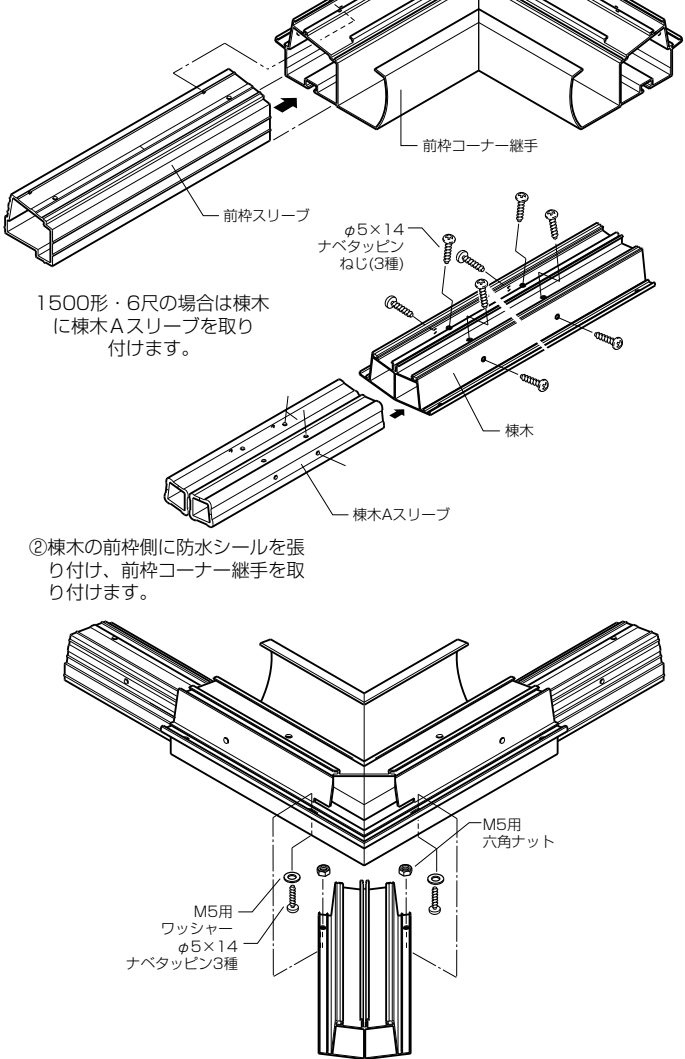
姿図より柱埋め込み位置を出し、基礎穴を掘ってください。

2 垂木がけの取付け

- ①入隅用垂木がけキャップの下端を「垂木がけ取付け下端寸法-2mm」の位置に合わせて仮固定しそれに合わせて垂木がけを取り付けます。その際、必ず水準器で水平を出してください。
 - ②躯体と垂木がけの透き間にシーリングしてください。
- ※垂木がけは必ず躯体の柱・間柱など構造材に取り付けてください。コーナー部は特に確実に取り付けてください。

3 棟木への部品取付け

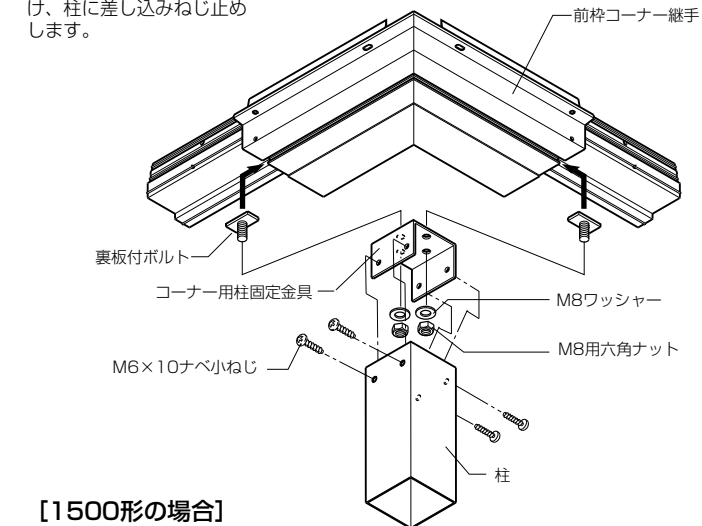
- ①前枠コーナー継手に前枠スリーブを取り付けます。



4 柱の取付け

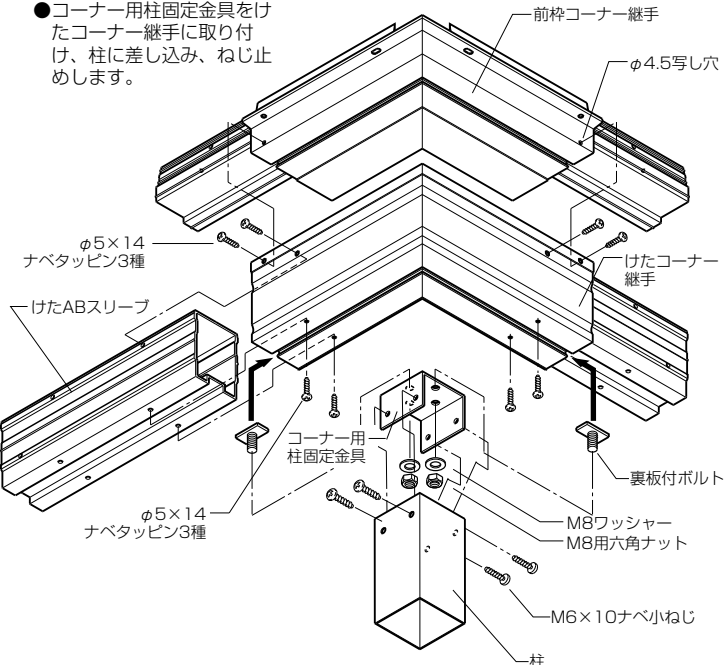
[600形の場合]

- コーナー用柱固定金具を前枠コーナー継手に取り付け、柱に差し込みねじ止めします。



[1500形の場合]

- けたコーナー継手にけたスリーブを取り付け、前枠コーナー継手とかん合させてねじ止めします。
- コーナー用柱固定金具をけたコーナー継手に取り付け、柱に差し込み、ねじ止めします。



5 棟木と垂木がけの接続

棟木を垂木がけに取り付けます。

6 前枠の取付け

[600形の場合]

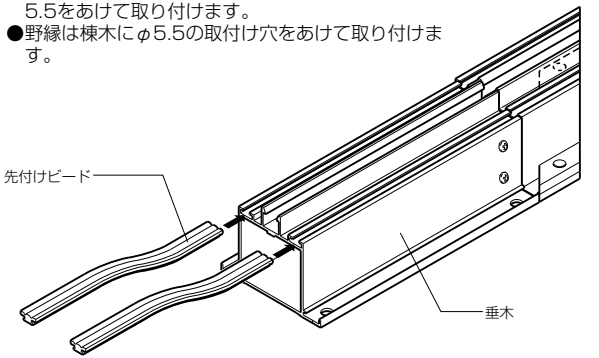
- 前枠の端部に柱を取り付け、前枠コーナー継手と接続します。
- 前枠コーナー継手と前枠の継ぎ目に前枠ジョイントカバーを取り付けます。

[1500形の場合]

- けたの端部に柱を取り付け、けたコーナー継手と接続します。
- 前枠コーナー継手と前枠を接続し、けたの穴に合わせて前枠に写し穴φ4.5をあけてねじ止めします。
- 前枠コーナー継手と前枠の継ぎ目に前枠ジョイントカバーを取り付けます。

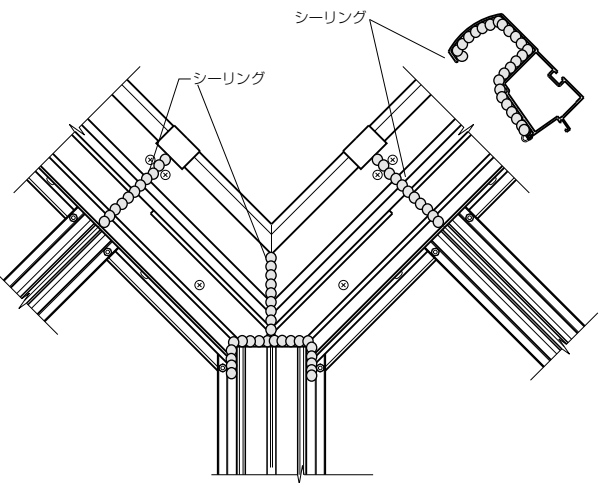
7 垂木・野縁の取付け

- 先付けビードを抜き取った垂木を加工し、垂木固定ビスを取り付けます。
- 抜き取っておいた先付けビードをビードホールに差し込み、部材に合わせて切断します。
- 垂木固定ビスの穴に合わせて、棟木に写し穴φ5.5をあけて取り付けます。
- 野縁は棟木にφ5.5の取付け穴をあけて取り付けます。



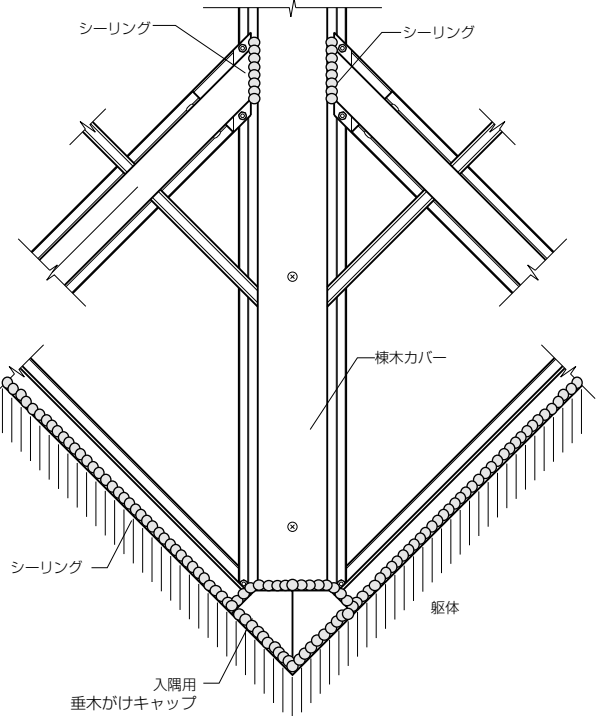
8 前枠雨樋部のシーリング

下図部位を確実にシーリングしてください。



9 屋根パネル・棟木カバーの取付け

- 前枠にパネルカバー・水切りパッキンを取り付けます。（長い場合は適当な長さに切断します。）
- グレチャンを屋根パネルに付け、垂木がけ及びパネルカバーに取り付けます。（三角形のアクリルにはグレチャンはつけません。）
- 棟木カバーを入隅用垂木がけキャップの下にもぐり込ませて、ねじ止めします。樹脂カバーは現場合わせで角度切断し、取り付けてください。
- 下図指定部位を確実にシーリングしてください。



●柱基礎

- ・柱埋め込み穴をコンクリート(またはモルタル)で埋めてください。
- ・詳細はサマンテラス本体に同梱の取付け説明書に従ってください。